

甘くておいしいひとときを！

春のお菓子まつり in まつうら

春のお菓子祭り in まつうら（松浦お3時プロジェクト主催）が3月6日、松浦海のふるさと館漁村体験学習施設で開催されました。

会場では、お菓子作り体験や大物産販売会が催され、各店舗がこの日のために用意した季節限定商品の販売などが行われました。甘い香りが漂う会場内には約1,000人が来場し、売り切れの商品が続出するなど大いににぎわいました。

お菓子作り体験の参加者たちは、お菓子作りのプロからの丁寧な指導を受けながら手作りの楽しさを満喫。自分で作ったお菓子をほお張ると、その出来栄に笑顔がこぼれていました。



たくさんの本が届いたよ！

星鹿小学校へ図書寄贈

星鹿小学校で3月14日、卒業生（氏名非公表）から図書の寄贈がありました。

同校の卒業生が、お世話になっている地域に還元したいという思いから、地元の子どもたちが勉強できる環境になるようにと図書約750冊と蔵書管理システムを寄贈しました。

6年の山口友莉やまぐち ゆうりさんは、「図書室に新しい本やシステムが入ったことで華やかになり、本で学ぶことができ、前より笑顔が増えてよかったです」と話しました。



昔遊びを楽しもう！

今福保育園凧揚げ大会

凧あげ大会（今福公民館主催）が3月11日、今福保育園で行われました。

この日は同保育園の4歳・5歳児45人と今福長寿会の会員22人が参加。同会の会員たちは、糸の長さを調整したりあげ方のコツを園児に指導し、園児らは凧あげを楽しみました。凧あげの後にはミニ卒園式が行われ、園児たちは感謝の気持ちを込めてお別れのことばを披露し、肩たたきをプレゼントしました。参加者たちは楽しい時間を過ごしました。



鷹島を「meets! まつら特別号」でPR！

鷹島小学校 6年生

鷹島小6年生19人が作成した「meets! まつら特別号」が完成し、3月11日に社会福祉協議会鷹島支所でお披露目式が行われました。

これは、自分たちが住んでいる鷹島のよさや鷹島の達人をPRするため、児童たちが総合的な学習の時間に実際に足を運び調べたことを冊子にしたものです。

児童たちは、「meets! まつら特別号」を公民館や歴史民俗資料館、商店など町内の各施設に置いていただき、一人でも多くの人の目に触れることで、一度でも鷹島に行ってみたいと思ってほしいと、設置のお願いをしながら配りました。



たくさん語って、将来を考えよう！

カタリ場 in 松高

「カタリ場in松高」(松浦高校PTA主催)が3月14日、松浦高校で開催されました。

「カタリ場」とは、NPO法人カタリバが高校生の進路意欲を高め、こんな大人になりたいという憧れや目標へと背中を押してくれるきっかけづくりとして行っている「動機付け学習プログラム」で、長崎県では初めて開催されました。

この日は、東京や九州各地から集まった社会人スタッフや大学生ボランティアが来校。これから進路選択を考えていく同校の2年生98人は、親でも先生でもない「ナナメの関係」の少し年上の先輩である大学生の体験談に聞き入り、さまざまな質問をぶつけながら、熱心に楽しく語り合いました。

